

サクラマスの駅伝 日野川流域交流会

◆活動の紹介

環境文化研究所 田中謙次





since2009プロジェクト！

日野川に砂礫河原を とりもどす会





昭和58年の川風景



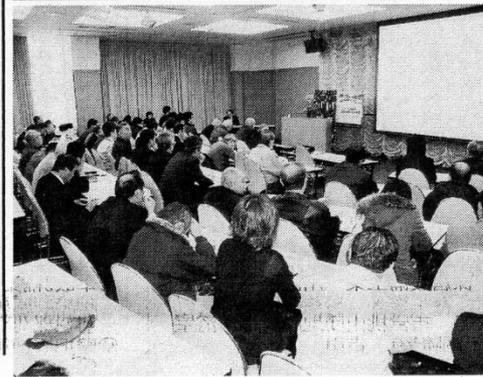
平成21年の川風景

日野川の砂礫環境と水際環境、生き物移動の連続性等の保全と再生を目指した地域連携活動 に取り組む





砂礫河原の取除作業の様子



約90人が参加した講演会 = 武生商工会館

日野川砂礫をとりもどせ

流域交流会が講演会で意見交換

福井県越前市の中央部 川流域交流会（渡邊光一を流れる日野川の環境保 代表幹事）は3日、武生会を目的に活動する日野 商工会館で「日野川に砂

礫河原をとりもどす会」を開き、講演会で河川に対する認識を深めるとともに、今年度の活動方針などを決めた。

約90人が参加。はじめに渡邊代表幹事が「流域交流会が誕生して12年がたつ。各地でいろんな住民活動が行われているが、連絡を密にし共通の問題を取り上げていこう。川というのは本来、さらさらと流れるものであり、泥がたまっている。これは良い環境といえない。これからの活動に協力していただきたい」などとあいさつ。続いて、国土交通省近畿地方整備局河川部の藤村正純広域水管理官が「砂礫河原の再生に向けて」をテーマに講演した。藤村氏は「全国各地で砂礫河川が減っている。どのようにして維持できるのか、試しながらやっていくこと

現状や地域連携による今後の取り組みについて意見交換。第2回は8月1日に同市村国町の万代橋付近で実施することを申し合わせた。同会は土砂が堆積し樹



漁協、観光協会、自然団体、学校、自治体、河川管理者、生物専門家、報道機関など、多様な約100名が集まりました。

砂礫河原の講演会(2010/2/3)





7地区の樹林を伐採し、砂礫河原を復元、
堆積する地質を調べました。(2009/4/13)



河原再生110日後
(2009/8/2)



出前講座『砂礫河原の再生に向けて』



講師／藤村正純氏
(国土交通省近畿地方整備局
河川部広域水管理官)

- ①現地をよく見る。
砂礫河原が残っているところはどんなところか。
洪水後の痕跡から冠水深と頻度を調べる。
- ②仮説を立てる。
〇〇すれば□□になって、
結果△△になるのでは。
- ③試しにやってみる。 少しずつ確かめながら
河床の砂礫が動き、草地、樹林化しない程度
の冠水深になるように切り下げる。草地化の
進行を押さえるため、表面の細粒土砂は除去
する。
- ④楽しみながら継続的に共働で取り組む。





意見交換

- ・樹林化対策のフラッシュ放流は困難だが、少量の草本は抑えられる
 - ・ダムなど人の活動は川に影響を与える。環境を取り戻す組織協力が必要
 - ・砂礫河原で何かをやった時、川がどのように反応するかを一緒に考える
 - ・一気にすると変な結果になるので、少しずつ楽しみながらやるべき
 - ・「上手くいった」、「失敗した」を共有する
 - ・伐採しても3～4ヶ月で生茂る。5～10年の長い取り組みとして考えるべき
 - ・目に見える効果を得るためモデル地区をつくり、対策を考えてみては
 - ・樹林を伐採した箇所に草が繁茂したが、それなりに効果があると感じる
 - ・細かい土砂を取り除けば、生えるスピードも異なり効果がある
 - ・イベント的に現地を歩き、復元できそうな場所を皆で話し合う
-
- ・手づかみ体験で濁った川のアユを食べて病気にならないのかと意見された
 - ・参加者から「ゴミ拾いくらいならできる」と言われた。その心が原点と思う





意見交換(アンケート結果より)

- ・樹林化防止には**自然の出水による土砂攪乱**の必要性を認識した
- ・「**楽しみながら継続的に取り組もう**」という姿勢に期待が持てる
- ・**成果がすぐに出なくても継続的に取り組んでほしい**
- ・砂礫河原が再生され、**多くの人に親しんでほしい**
- ・**日野川オリジナルの保全**を目指してほしい
- ・昔の川は元気、今の川は病気といえる。**川をいたわる**ことが大切
- ・**行政的な予算を組み込む**ことが必須条件
- ・**子供たちにも継続**できる活動を！
- ・**小さいことでも継続**できる活動を！





砂礫河原の現状と意見交換(2010/4/20)
バスツアー(約30名参加)



「草地に戻ったところもあったが...」

「これはスゴイ！手をかければ本当にこのような川になるのだ!!」

砂礫河原復活へ視察

日野川で有志会30人



日野川河川敷で、砂礫河原の重要性を話し合うメンバー—20日、越前市帆山町

川
の
環
境
を
見
直
そ
つ
と
河
原
を
ど
り
も
ど
す
会
」
活
動
す
る
「
日
野
川
に
砂
礫
20日、越前市から南越前

町までの日野川で現地視察会を開いた。砂礫質の河原や中州をよみがえらせ、多様な生物がすめる環境を整えようと活発に意見を交わした。

砂礫は細かな砂利のことで、砂礫河原はバッタなど多くの生き物が生息。さらに雑草が少なく、子どもでも安心して川遊びができる。同会は河川整備などで砂礫河原が急速に減っていると指摘。市内の河原で親子向けの川遊びイベントを開くなど、保全を訴えている。

この日は環境保護団体

や行政担当者、学識者らメンバー約30人が参加し、同市帆山町から同町広野まで日野川沿いの約25キロをバスで往復。河川敷で数回降り、現状を視察したメンバーからは「砂礫はほとんど残っていない」などといった意見が出された。

今後も砂礫河原の回復に向けて視察会やイベントの開催、行政への提言を続ける。福井高专准教授の奥村充司会長は「自然と人間が共存できる豊かな川を取り戻したい」と話していた。

サクラマス
の
駅伝
日野川流域交流会

そうだ！

魚つかみ等の
川遊びを通じて
川の魅力や関心を
高めよう！

第2回目のイベントが
立ち上がりました！



川や砂れき河原の生き物を観察し、川遊びを体験することで、日野川の魅力を発見し、川への関心を高める市民イベントです。

2010.
8/1 ㊤
10:00~15:00

小雨決行。増水など悪天候の場合は中止することがあります。

日野川河川緑地公園と
砂れき河原(万代橋上流)

- 小学生以下は保護者同伴
- 参加費無料



サクラマス
日野川流域交流会

そうだ！川へ行こう



イベントの準備も
みんなでやります！



サクラマス
の
駅伝
日野川流域交流会

そうだ！川へ行こう



イベントが始まりました！

アユをなんと4000匹も放流！ 来場者数1000人超え！



サクラマスの駅伝
日野川流域交流会

そうだ！川へ行こう



去年は泥濁り
(細かい土砂が埋まっていた)



今年はきれい！
(砂礫河原復元成功！)

サクラマス
の
駅伝
日野川流域交流会

そうだ！川へ行こう



ちびっ子は特設プールで大はしゃぎ！



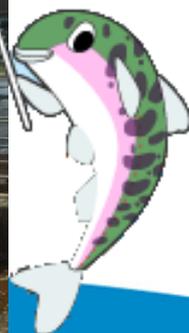
魚道模型で魚の遡上を観察！



アユの塩焼き！（必殺！金串焼き）

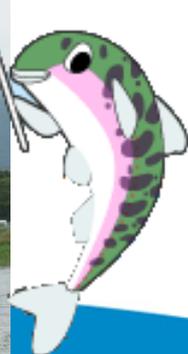


本物の魚道を観察！



サクラマスの駅伝
日野川流域交流会

そうだ！川へ行こう





後日、砂礫河原のについて語り合い、振り返りをする。
人と川とのいい関係について、川からたくさん学びました。

来年へつづく

